

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	鋼構造制振小委員会		主 査 名：笠井和彦 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 鋼構造運営委員会		委員長名：和田 章 主 査 名：中島正愛
設 置 期 間	2006 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鋼製制振部材や鉄骨架構からなる制振構造の保有性能評価法の構築</li> <li>・ 制振部材や制振構造の解析モデル化手法の構築</li> <li>・ 以上をまとめた『鋼構造制振設計指針(仮称)』の刊行</li> </ul>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有		
	笠井和彦(東京工大)、緑川光正(北海道大)、井上一朗(京都大学)、玉井宏章(広島工大)、木村祥裕(長崎大学)、金子洋文(竹中工務店)、田中清(高環境エンジニアリング)、渡辺厚(新日鉄エンジニアリング)、加村久哉(JFE技研株式会社)、石井正人(日建設計)、宇佐美徹(竹中工務店)、松岡祐一(防災科学技術研究所)、山下哲郎(巴コーポレーション)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2006 年度予算	350,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 上記手法の構築のため行った情報収集は大変有意義であった。 2. 委員の公募による増員を行い、小委員会の活動範囲を広げることができた。 3. 目次案は大方決定することができ、それに準じた活動を開始できた。
委員会活動の問題点・課題	1. 梁・柱部材の保有性能が制振構造にどのように影響するかの検討 2. 軸降伏型鋼製制振部材で、企業の製品以外のものの創出・提案の模索 3. 軸降伏型・せん断降伏型の鋼製制振部材の累積損傷則の構築・提案